

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>1 活力を創る 【戦略1】ビッグチャンスを生かす 戦略1 - 産業力の強化 中小企業のチャレンジをサポートする</p>	<p>1,531,149</p>	<p>1,482,534</p>	<p>1 産業人材強化推進事業 地元の産業ニーズに沿った人材の育成及び確保を促進するため、「熊本県ものづくりを中心とする産業人材強化戦略」に基づき、次の取組みを実施した。</p> <p>(1) 産業人材強化ネットワーク推進会議の開催 教育・訓練機関、産業支援機関、地元経済界、行政機関等で構成する推進会議を開催し、人材育成及び確保に関する取組みの実績、課題等について協議するとともに、実務者で構成する人材育成部会を開催し、優事例の紹介、意見交換等を行った。</p> <p>(2) 産業人材強化支援センターの運営 人材育成と確保に関する様々な相談に一元的に対応するコーディネーターを配置し、企業や個人の相談に対応した。(相談件数: 153 件)</p> <p>(3) ものづくり中核人材育成の支援 企業の計画的な人材育成を推進し、技術指導・教育訓練の中心であるOJTの質を高め、中核となる人材の育成を推進することを目的に、企業が主に自社内で実施する計画的な技術指導・技能訓練に対し、外部講師を派遣して人材育成を支援した。 ・派遣実績: 13 社 (延べ 52 回)</p> <p>(4) 情報提供ポータルサイト「ジョブチャンネルくまもと」による情報発信 県内で実施される教育訓練・講習会等の情報やマッチングサイト等の表示・リンクを行い、人材育成及び確保を図りたい企業や、スキルアップを図りたい個人が必要とする各種情報をウェブサイト上で一括して提供するサービスを実施した。(アクセス件数 98,921 件)</p> <p>2 戦略産業雇用創造プロジェクト事業 戦略産業分野(セミコン、食料品関連)の企業に対して、新商品開発や海外展開、新規雇用のOJT活動に対する補助を行い、企業の従業員や地域の求職者に対して、研修事業を行うとともに、マッチング支援事業を実施した。 また、事務局に農商工支援連携アドバイザー、雇用促進相談員等の嘱託職員を配置し、新商品開発に関する助言や雇用ニーズの把握、求職者とのマッチング支援を実施した。 ・新規雇用創出数 136 人</p>	<p>職業訓練総務費のうち P 222 ~ P 224</p> <p>失業対策総務費のうち P 228 ~ P 229</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(中小企業のチャレンジをサポートする)			<p>3 チャレンジサポート中小企業経営力強化支援事業 (経営支援) 中小企業の経営基盤の強化を支援するため、経営支援一体型のチャレンジサポート資金 (制度) の利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資実績：チャレンジサポート資金 35 件 530,790 千円 <li style="padding-left: 20px;">チャレンジサポート制度 2 件 14,000 千円 ・専門家派遣実績：派遣回数 116 回 	中小企業振興費のうち P 297 ~ P 298
			<p>4 チャレンジサポート中小企業経営力強化支援事業 (成長支援) 創業・事業承継及び経営革新に取り組む中小企業を支援するため、金融支援から事業着手後のフォローアップに至る経営支援まで、商工団体への補助等による支援を行った。</p> <p>また、中小企業の経営力強化に向けて、金融機関と商工団体等経営支援機関が連携する仕組みづくりについての検討会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー受講生の創業・事業承継の着手実績 58 事業者 (創業 34、事業承継 24) ・経営革新計画承認件数 37 件 (商業 29 件、工業 8 件) ・連携支援検討会 11 機関 (県内 7 金融機関、信用保証協会、商工 3 団体) ・融資実績：創業者支援資金 196 件 797,200 千円 <li style="padding-left: 20px;">事業承継者おうえん資金 5 件 53,900 千円 	中小企業振興費のうち P 297 ~ P 298
			<p>5 リーディング企業育成支援事業 今後 10 年間のうちに県内でリーディング企業となることを目指し、成長に向けた計画を有している中小企業者であるリーディング育成企業 37 社 (平成 26 年度認定 6 社)、サブ・リーディング育成企業 13 社 (平成 26 年度認定 4 社) に対して、県及び関係機関により総合的かつ継続的な支援を行った。</p> <p>また、育成企業のうち 4 社に対し助成を行うとともに、トライアル購入事業として、熊本県新事業支援調達制度の認定を受けた新商品の中から、育成企業が開発した新商品 2 品目を県の機関に導入することにより、新商品開発や販路開拓を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成実績：リーディング育成企業 4 社 (36,104 千円) ・トライアル購入実績：導入件数 2 品目 (2 機関)、購入金額 2,000 千円 	工鉦業振興費のうち P 304 ~ P 305
			<p>6 中小企業チャレンジサポート&ソリューション事業 中小企業のチャレンジを支援することを目的に、中小企業者の販路拡大や生産管理等につい</p>	工鉦業振興費のうち P 304 ~ P 305

(商工観光労働部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(中小企業のチャレンジをサポートする)			<p>て、より高度な専門性を有するスペシャリストチームにより、経営課題の抽出から現場指導・改善支援までの質の高い支援を一貫して行った。</p> <p>・指導、支援企業数：約 50 社 (延べ 793 社・人)</p>	
創造的企業誘致を進める	43,205	37,442	<p>1 創造的企業誘致推進事業 企業の海外移転や国内拠点の再編・集約が加速する中、コア技術や最先端技術分野は国内に残す企業が多いことから、研究開発部門の誘致に積極的に取り組み、6社の研究開発部門を誘致した。</p> <p>・設備投資予定額：190 億円、雇用予定者数：126 人</p> <p>2 企業誘致事業 知事トップセミナーや企業誘致可能性調査等による新規企業誘致、本県に立地する既立地企業の拠点性向上に向けた誘致活動を実施した結果、企業誘致件数が 35 件(うち研究開発部門が 6 件)、新規雇用予定者数が 1,050 人となり、順調に推移している。</p>	<p>工鉱業総務費のうち P 302 ~ P 304</p> <p>工鉱業総務費のうち P 302 ~ P 304</p>
熊本イノベーションを進める	140,550	119,414	<p>1 電動モビリティ関係人材育成支援事業 県内の小学生から大学生に対して、電気自動車などの次世代モビリティに関する産業教育を進めるとともに、EVフェスティバルの開催を支援し、県民へのEV普及及び環境意識の醸成をより一層推進することにより、EV・PHVタウン構想の実現を推進した。</p> <p>(1) 電動モビリティ普及啓発サポーター校支援 県内の工業系高校・大学等から、本事業の実施に協力してもらう「サポーター校」を認定し(平成 26 年度は 19 校)、以下の取り組みを実施した。 サポーター校を対象とした電動モビリティ技術講習会の開催 ・第 1 回 モーター製作会、第 2 回 本田技研工業熊本製作所工場見学会 サポーター校主催の小中学生向け電動モビリティ体験教室等に係る経費支援 延べ 14 回実施、1,337 人受講</p> <p>(2) EVフェスティバル開催支援 「EVフェスティバル in くまもと」 開催日 平成 26 年 10 月 12 日 場所 グランメッセ熊本 内容 県及びサポーター校の取り組み(超小型モビリティ、エコ電カー他)を紹介。</p> <p>2 次世代モビリティ普及促進事業 電気自動車等次世代モビリティの普及を促進するため、県内の市役所や道の駅といった公共</p>	<p>職業訓練総務費のうち P 222 ~ P 224</p> <p>工鉱業振興費のうち P 304 ~ P 305</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>(熊本イノベーションを進める)</p>			<p>施設や宿泊施設等に充電施設を整備 (急速充電器 5 基、普通充電器 26 基) した。 また、環境 P R 車として電気自動車 2 台を導入し、環境イベントにおける展示等を通じて P R に取り組んだ。</p> <p>3 企業連携体活動促進事業 大手企業や成長分野等の発注ニーズ調査 (5 回) 及び県内中小企業との共同技術提案会 (5 回) を実施し、大手企業との取引拡大や成長分野への参入を可能にする新たな企業連携体の形成を促進する活動を支援した。</p> <p>4 有機薄膜技術拠点形成事業 有機系太陽電池や有機 E L 照明等に必要となる有機材料及びその製造・評価装置を半導体、自動車に次ぐ本県の次世代産業として育成することを目的に、「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター」を中心に、企業及び大学と連携して、共同研究開発活動や企業に対する支援を行い、有機エレクトロニクス産業の拠点形成に努めた。 併せて、当拠点を活用して、企業を主体として設立された「くまもと有機エレクトロニクス産業促進協議会」(平成 27 年 3 月末現在 34 会員)が、商品企画等の活動を行い、山鹿灯籠まつりへの「有機 E L 灯籠」、熊本県伝統工芸館に「有機 E L 棚下照明」、美術館に「美術品向け有機 E L 照明」の納入を行った。また、「睡眠障害改善用有機 E L 照明」等の開発に取り組んだ。</p> <p>5 次世代マグネシウム合金拠点化推進事業 展示会への出展支援を行い、アプリケーションの更なる開発へのニーズ収集及び県内外の販路拡大のための広報活動を行った。また、補助金を活用した試作品の開発 (2 件) 及び事業化への実証 (1 件) の取組みを行った。</p> <p>6 超小型モビリティ導入促進事業 本田技研工業 (株) と締結した次世代小型電動パーソナルモビリティによる社会実験に関する包括協定に基づき、行政機関による公用車利用、観光地におけるレンタカー利用、事業所における事業用車両への利用、一般モニターの日常生活における利用といった社会実験を実施し、超小型モビリティ (2 人乗りの小型の電気自動車) の普及可能性を検討した。</p>	<p>産業技術センター費のうち P 308 ~ P 310</p> <p>新事業創出促進費のうち P 310 ~ P 311</p> <p>工鉱業振興費のうち P 304 ~ P 305</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(熊本イノベーションを進める)			<p>7 有機エレクトロニクス産業・事業化促進事業 有機エレクトロニクス産業の事業化推進のため、県内企業等による実用化に向けた試作開発の支援を行った。(採択件数3件)</p> <p>8 医療・福祉関連産業参入支援事業 医療・福祉現場におけるニーズを的確に捉えた熊本発製品の創出及び県民生活の質の向上を促進するため、企業と医療機関従事者等とのマッチングセミナーを5回開催した。</p> <p>9 燃料電池自動車普及促進事業 燃料電池自動車(FCV)及び水素ステーションの初期需要創出、関連産業の育成・振興を目的とした「熊本県燃料電池自動車普及促進計画」を学識経験者、自動車メーカー、水素供給事業者及び県内事業者等で構成される「熊本県燃料電池自動車普及促進計画策定委員会」を設置し、4回にわたり協議・検討を行い、平成27年3月に策定した。 また、FCVの普及啓発を図るため、講演会、試乗会及び展示会を開催し、FCVに関する県民、県内事業者の理解促進につなげた。</p>	<p>新事業創出促進費のうち P310~P311</p> <p>新事業創出促進費のうち P310~P311</p> <p>工鉱業振興費のうち P304~305</p>
フードバレー構想で県南を活性化する	17,978	14,216	<p>1 「食と健康」産業創出支援事業 県内企業の付加価値の高い食品関連商品を購入力の高い首都圏へ販路開拓を行うため、マッチングアドバイザーを健康サービス産業協議会に配置し、首都圏パイヤー等のニーズとのマッチング支援に取り組んだ。 また、企画提案力等を高めた付加価値の高い県内の食品関連商品の全国に向けた周知や、県内関連産業の意欲向上及び販路拡大を後押しし、「食と健康」サービス関連産業の活性化を図るため、首都圏での商談会開催及び展示会への出展を行った。 ・アドバイザーによるプレゼンテーション練習会の実施：2回(7社参加) ・熊本県「食と健康」産業チャレンジセミナー(商談会)の開催：1回(7社参加) ・ヘルスフードエキスポ2014(展示会)への出展：1回(8社参加)</p> <p>2 食品周辺関連産業技術振興事業 食品関連産業技術の振興のため、専門コーディネーター2名を公益財団法人くまもと産業支援財団に配置し、食品周辺関連の事業化に向けたニーズ・シーズ調査及びマッチングコーディネート等を実施した。</p>	<p>新事業創出促進費のうち P310~P311</p> <p>新事業創出促進費のうち P310~P311</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(フードバレー構想で県南を活性化する)			<p>また、コーディネーターが掘り起こした潜在的案件 (39 件) の中で、特に有望な案件について、試作・開発等への支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化可能性調査事業 : 4 テーマ (4 団体) を選定 <p>3 フードバレー構想の推進支援に係る技術開発</p> <p>農産物等の加工性や食品の保存性等について他地域と差別化等を図るため、粉体粉末化や発酵等の技術分野において、地域企業等の抱える技術課題の解決を産学官及び農商工業医連携等により積極的に推進した。</p> <p>食品産業支援に関する技術開発については、農産物等の変色を抑える高度な酵素活性の抑制技術 (レタス等農産物の褐変防止技術等) や新たな機能性を付与する発酵・熟成技術の開発 (サトウキビ発酵シロップの開発等) に取り組んだ。</p> <p>食品周辺産業支援に関する技術開発については、繭糸微粉末を用いた新たな成形技術の開発や、麦芽糖を原料とした製膜塗布技術の開発 (鋳物と糖鎖ポリマーを複合した透明ガスバリアコーティング材及び食品包材等) に取り組んだ。</p>	<p>産業技術センター費のうち P308 ~ P310</p>
起業を応援する	97,564	97,323	<p>1 事業革新支援センター事業</p> <p>企業の創業、経営革新、事業活動に関わる個々の課題に対して、総合的な支援を行うための人員の配置や専門家の派遣を行うとともに、中小企業の販路拡大を図るため、発注企業の開拓や発注企業に対する企業情報の提供等を行った。</p> <p>また、新規創業者等に対する支援の充実を図るため、県内3か所に設置しているインキュベーション施設の運営管理のほか、(独) 中小企業基盤整備機構の起業家育成施設「くまもと大学連携インキュベータ」に支援人材を配置し、入居企業の研究開発や事業展開を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手企業への取引斡旋件数 : 322 件 (九州 196 件、関西 81 件、関東 45 件) ・受注成約数 : 九州 26 件 17,330 千円、関西 9 件 4,591 千円、関東 4 件 41,710 千円 ・専門家派遣数 : 192 回 (34 企業) ・入居企業数 : 16 社 <p>2 創業・新分野進出推進事業</p> <p>新事業の創出及び雇用の確保を図るため、(一財) 熊本県起業化支援センターが実施するくまもとベンチャーマーケットの開催を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財) 熊本県起業化支援センターによる投資 (株式等引受) 実施件数、金額 : 4 件、70,000 千円 	<p>工鉱業振興費のうち P304 ~ P305</p> <p>新事業創出促進費のうち P310 ~ P311</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(起業を応援する)			<ul style="list-style-type: none"> ・くまもとベンチャーマーケット「二火会」の開催 発表企業 12 社、問合せ 280 件、商談 63 件 (うち商談成立 3 件) 	
戦略 1 - 九州の観光拠点化 観光客を呼び込む	357,517	351,636	1 くまもとプロモーション推進事業 九州における熊本の拠点性向上を目指し、くまモンを活用したプロモーションを一元的に展開することで交流人口の増大や県産品の販路拡大等に繋がる「くまもと」イメージの向上を図った。 (1) くまモンのブランド価値向上の取組み 全国的に高まったくまモンの人気を維持するだけでなく更に上昇させ、ブランド価値の向上を図るため、くまモンの世界観を創るとともにキャラクター設定に深みを持たせることに取り組んだ。 くまモンの世界観の創造とキャラクター設定の深化 ヨーロッパプロモーションの実施 イギリスプロモーションの実施 (2) くまモンと熊本の関連性強化 営業部長活動の強化 くまモンが発信力のある企業等と連携することで熊本県の情報発信を行う活動 (営業部長活動) の強化につながった。くまモンのキャラクターと企業の発信力を合わせ、活動への注目度をより高めることで、くまモンをきっかけとした熊本県の情報発信をさらに効果的なものとした。(平成 26 年度の新規活動の総数 31 件) 「くまもとから元気をプロジェクト!」の実施 平成 25 年度に引き続き、くまモンが熊本との関連性が強いもののこれまで行ったことがない地域等を訪問し、各地に元気を届け、地域間交流を進める「くまもとから元気をプロジェクト!」を実施した。(長崎県、秋田県、富山県、岩手県、愛媛県、台湾) 地域の特性に応じた PR 展開の実施 首都圏・関西・中国、福岡地域において、くまモンを活用した「くまもとプロモーション」を一体的に展開し、各地域における「くまもと」の存在感を高めることで、県等が実施する様々な取組みの訴求力を高めた。 ・くまモンファン感謝祭 in TOKYO 2015 (ベルサール飯田橋ファースト) の開催 ・くまモンファン感謝祭 in OSAKA 2015 (西梅田スクエア) の開催 等	商業総務費のうち P 295 ~ P 297

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(観光客を呼び込む)			<p>2 くまモン活用熊本PR事業 くまモンの人気をいかし、イベントや情報発信ツールの活用を行うと共に、くまモン利用商品の管理を適切に行った。</p> <p>(1) 県内プロモーションの実施 「夏休みラジオ de くまモン体操」の実施 毎週1回県内の各地域の小学校(5か所)を訪問した。(合計約2,000人参加)また、平成26年8月24日にはパークドーム熊本でスペシャルイベントを開催した。 くまモン誕生祭2015の実施 くまモンの誕生日である平成27年3月12日から15日までの4日間、熊本市中心市街地を会場として、商店街をはじめとする関係企業や団体との連携により、中心市街地の活性化にも寄与するイベントとして実施した。 新たに山鹿市、八代市にも会場を設け、期間中県内外から8万人を超える来場者を集めた。</p> <p>(2) SNS等での情報発信の実施 ツイッター、フェイスブック等のSNSを活用し、情報発信に努めた。ツイッターのフォロワー数は36万2千人を超え、フェイスブックについても、「いいね!」の数は16万6千を超えた。</p> <p>3 くまモン使用許可等管理事業 民間事業者が販売を目的に制作する商品等へのキャラクターの利用許諾を行った。 ・許可件数:19,200件(平成22年12月~平成27年3月末) ・利用許諾商品の売上高 売上高:643億円(平成26年1~12月)(2,888業者回答/対象4,485業者) 回答率64%</p> <p>4 くまモン隊管理運営事業 くまモンをフックとした“草の根活動”により、話題を集め、本県への興味を誘発し、くまもとの魅力発信を行った。(熊本・福岡、関西及び首都圏を拠点に活動) ・平成26年度出動回数実績 熊本・福岡:1,660回、関西:411回、首都圏:445回 合計:2,516回</p>	<p>計画調査費のうち P134~P135</p> <p>計画調査費のうち P134~P135</p> <p>商業総務費のうち P295~P297</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(観光客を呼び込む)			<p>5 観光物産交流スクエア管理運営事業 本県の観光・物産情報を広く周知するため、指定管理者制度により、くまモンを活用した観光物産交流施設「くまモンスクエア」の管理・運営を実施した。 ・平成 27 年 3 月末における累計来館者数約 59 万 3 千人。</p> <p>6 ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業 (1) 「選ばれる観光地くまもと」観光キャンペーン展開事業 JR九州、JR西日本等とのタイアップにより、「リメンバー九州キャンペーン(通年)」、「はっピースくまもと夏たびキャンペーン(平成 26 年 7 ~ 9 月)」、「アリス イン ワンダーランド熊本キャンペーン(平成 26 年 10 ~ 平成 27 年 3 月)」を展開し、観光列車や県内周遊ルートをPRした。 (2) 九州観光拠点化推進事業 九州の中央に位置する本県の地理的優位性を生かし「九州観光の拠点」を目指すため、九州7県の情報を掲載した観光ホームページ「九州ぐるり旅」や同名のパンフレット等を活用した九州周遊ルートのPRにより、九州域外からの観光客を誘客した。</p>	<p>商業総務費のうち P 295 ~ P 297</p> <p>観光費のうち P 311 ~ P 313</p>
ストーリー性のある観光戦略を展開する	1,500	1,500	<p>1 ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業 (1) 熊本観光ブランド形成事業 熊本の温泉のブランド化を進める特命チーム「くまもと・ふるモーション課」を設置し、熊本の温泉情報を集めた「くまもとおふる読本」を発行するとともに「杖立温泉 Neo 湯治プログラム」をはじめとするプログラム開発等を進めた。 また、熊本の歴史文化をテーマとしたバスツアー「くまもと再発見の旅」を実施し、観光客を誘客した。</p>	<p>観光費のうち P 311 ~ P 313</p>
<p>【戦略2】稼げる農林水産業への挑戦 戦略2 - 次世代型産業への挑戦 新たな力を取り込む</p>	5,121	4,775	<p>1 プレミアム商品開発支援事業 ブランド力の高い高品質スーパーが持つ商品開発のノウハウを活用し、県内事業者によるプレミアム商品の開発を支援した。 ・3事業者が本事業を活用し、4商品を開発。4商品すべてが商品化された。</p> <p>2 新商品等販路開拓マーケティング支援事業 (1) 農商工連携サポート事業 「くまもと農商工連携100選」認定事業者等が、販路開拓のために県外で開催された展示</p>	<p>商業総務費のうち P 295 ~ P 297</p> <p>商業総務費のうち P 295 ~ P 297</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(新たな力を取り込む)			<p>会、商談会へ出展した際に要した費用の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 事業者が本事業を活用して、東京・福岡の展示商談会へ出展し、7 件成約。 <p>(2) 県内テストマーケティング支援事業</p> <p>「くまもと農商工連携 100 選」認定事業者等が、農商工連携により開発した試作品を県内小売店でテストマーケティングした際に要した費用の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 事業者が本事業を活用し、15 品を商品化。 	
<p>【戦略3】地域力を高める</p> <p>戦略3 - 交流拡大による地域振興</p> <p>新幹線効果を各地域へ広める</p>	103,919	103,879	<p>1 ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業</p> <p>(1) 「選ばれる観光地くまもと」観光キャンペーン展開事業(再掲)(P90)に記載</p> <p>(2) 顧客満足度向上プロジェクト事業</p> <p>観光関係団体や地域づくり団体等が連携して行うおもてなし事業に対する助成(8件)を行い、各地域におけるおもてなしの向上を図った。</p>	<p>観光費のうち</p> <p>P311 ~ P313</p>
<p>戦略3 - 地域の現状やニーズを踏まえた地域振興</p> <p>地域の生活を支える</p>	20,577	19,440	<p>1 商店街まちづくり推進事業</p> <p>(1) まちなかづくり推進事業</p> <p>商店街組織等が行う商店街の環境整備(ハード事業)や活性化対策(ソフト事業)を支援する市町村に対して助成を行い、商店街の活性化を支援した。</p> <p>ハード事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成市町村: 2 市 事業実施団体: 3 団体(防犯カメラ設置事業) <p>ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成市町村: 1 町 事業実施団体: 1 団体(ポイントカードリニューアル事業) <p>2 地域力活用ビジネス創出支援事業</p> <p>小規模事業者等と連携して新商品開発や販路拡大に取り組む商工団体に助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成団体: 9 商工会、2 商工会議所及び熊本県商工会連合会 ・ 助成件数: 特産品開発等 8 件 <ul style="list-style-type: none"> 既存商品の改良による販路拡大 2 件 観光ルート開発等 3 件 	<p>商業総務費のうち</p> <p>P295 ~ P297</p> <p>中小企業振興費のうち</p> <p>P297 ~ P298</p>

(商工観光労働部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>【戦略4】未来型エネルギーのトップランナー 戦略4 - 新エネルギーの導入の加速化 エネルギーの地産地消を進める</p>	5,459	3,264	<p>1 くまもと県民発電所推進事業 認証済の2件(旧天草東高校グラウンド、県公共関与最終処分場屋根)に対し、事業開始に向けた調整を行った他、うち1件については、個人向け小口ファンドの広報等を行った。 また、温泉熱発電や小水力発電の事業者に県民発電所事業を提案し、新規事業化の掘り起こしを行った。小水力発電事業については新たに事業可能性調査への助成を行い、事業化を進めた。</p>	<p>新事業創出促進費のうち P310～P311</p>
<p>メガソーラーを立地する</p>	3,594	3,005	<p>1 新エネルギー等導入推進事業 本県の特徴ある地域資源を活かした新エネルギー(太陽光、小水力、地熱)の導入を促進するため情報収集、協議等を行った。 南阿蘇村における「南阿蘇村地熱資源の活用に関する条例」制定を支援し、地熱発電の事業化を進めた。 ・メガソーラーの立地決定：10件 ・温泉熱発電所の新規稼働：1件</p>	<p>工鉱業振興費のうち P304～P305</p>
<p>戦略4 - 省エネルギーの推進の強化 省エネルギーを強化する</p>	41,954	35,565	<p>1 省エネルギー推進事業 県内の住宅・中小企業等における省エネルギーの促進を図るため、省エネルギー設備の導入費用の一部を助成した。 ・助成件数：住宅向け158件、中小企業向け9件 ・助成金額：住宅向け19,210千円、中小企業向け7,637千円</p> <p>2 くまもと県民節電所サイト構築事業 県民総ぐるみで省エネ、節電を推進していくため、省エネルギーに関する情報の共有や節電効果を「見える化」するサイトの開設及び運営の支援を実施した。 また、当サイトと連携して、夏と冬に節電キャンペーンを実施し、サイトへの登録及び電気家計簿への入力を促進した。(参加世帯数408世帯)</p>	<p>工鉱業振興費のうち P304～P305</p> <p>新事業創出促進費のうち P310～P311</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
2 アジアとつながる 【戦略5】アクション・アジア 戦略5 - アジアに打って出る アジアの市場に打って出る	83,086	74,648	1 中国経済交流促進事業 上海市の熊本上海事務所や広西壮族自治区の熊本広西館を拠点として、中国との経済交流を促進した。 上海市で開催された商談会への熊本ブースの出展や、熊本での中国バイヤー招へいによる商談会を実施するとともに、広西壮族自治区における中国・アセアン博への出展及び現地百貨店での県産品の販売実証に取り組んだ。 さらに、中国等における「熊本」商標監視や中国におけるくまモンを活用したPR活動を行った。 2 海外拠点運営事業 中国経済の中心地で富裕層も多い上海市や、30年を超える友好提携の長い交流実績をもつ広西壮族自治区において、本県との経済交流を深めるための活動拠点として熊本上海事務所及び熊本広西館を運営し、県内企業の中国展開のための支援を行った。 (1) 熊本上海事務所 (正式名称 一般社団法人熊本県貿易協会上海事務所) ・相談等対応件数 198 件 ・イベント参加 15 件 (2) 熊本広西館 ・相談等対応件数 616 件 ・イベント参加 3 件 3 海外ビジネス支援アドバイザー運営事業 シンガポール・香港・台湾に現地事情に精通したビジネスアドバイザーを設置するとともに、ベトナムをはじめ、アセアン諸国に、県内企業の課題解決の支援が可能なスポットアドバイザーを選任し、県内企業の海外進出を支援した。 ・ビジネスアドバイザーへの相談件数：シンガポール 33 件、香港 42 件、台湾 71 件 ・スポットアドバイザー利用可能地域：ベトナム、カンボジア、ミャンマー、フィリピン、インドネシア 4 台湾・アセアン・香港経済交流事業 台湾・アセアン・香港において、知事のトップセールスや熊本フェアの開催などを通して、県産品の販路拡大を図った。	商業総務費のうち P 295 ~ P 297 商業総務費のうち P 295 ~ P 297 商業総務費のうち P 295 ~ P 297 商業総務費のうち P 295 ~ P 297

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(アジアの市場に打って出る)			<ul style="list-style-type: none"> ・台湾では、MOU (国際交流促進覚書) を締結している高雄市との交流を軸に、知事トップセールスのほか、台湾セブンイレブンとの連携による熊本プロモーションを開催し、約 5000 店舗で本県のPRと県産品販路拡大を図った。 ・シンガポールでは、シンガポール伊勢丹で熊本フェアを開催し、県内企業 22 社が出展した。 ・香港では、サークルKと連携し、くまモンを活用した熊本プロモーションを実施し、330 店舗で本県PRと県産品販路拡大を図った。 <p>5 地域企業海外展開支援事業 県内企業の行う海外への販路開拓を前提とした活動を支援することにより、県内企業の国際競争力の強化及び海外からの受注獲得を目指し、グローバル化への適応を促進するため、4 グループの事業について助成を行った。</p>	工鉱業振興費のうち P 304 ~ P 305
ポートセールスを新体制で展開する	147,175	115,275	<p>1 戦略的ポートセールス推進事業 熊本港及び八代港の利便性向上及び国際コンテナ貨物の利用拡大を図るため、国際コンテナ航路の利便性を高めた船社に対して、ガントリークレーン使用料の 1/2 を助成した。</p> <p>2 国際コンテナ利用拡大助成事業 県外港へのコンテナ貨物の流出を防止し、県内港取扱いの貨物量を増加させ航路の利用拡大を図るため、熊本港及び八代港を利用する荷主企業へ助成を行った。 平成 26 年における熊本港及び八代港のコンテナ取扱数が合計 26,048 T E U (熊本港 7,838 T E U、八代港 18,210 T E U) となり、前年比で約 19% 増加し、過去最高を更新した。</p>	工鉱業総務費のうち P 302 ~ P 304 工鉱業総務費のうち P 302 ~ P 304
戦略5 - アジアから呼び込む 観光客を増やす	39,445	38,991	<p>1 ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業 (1) アジアをターゲットとした誘客戦略 本県外国人宿泊者で最も多くの割合を占める韓国を始め、台湾、香港、中国の東アジア地域やタイ、シンガポール等の東南アジアからの誘客のため、一般社団法人九州観光推進機構、九州各県等と連携し、現地プロモーションや、海外旅行会社・マスコミ等の招請事業を実施した。その結果、延べ外国人宿泊者数は対前年比で約 13% 増加し、過去最高の 47 万人を記録した。</p>	観光費のうち P 311 ~ P 313
留学生から「選ばれる」まちを創る	902	887	<p>1 中小企業と留学生とのマッチング支援事業 「留学生が活躍できる場や機会の創出」として、一般社団法人大学コンソーシアム熊本や九州グローバル産業人材協議会等との共催により、留学生向けの就職合同説明会を開催した。 ・出展企業：17 社、参加者(県内大学に学ぶ留学生等)：82 人</p>	労政総務費のうち P 219 ~ P 221

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>3 安心を実現する 【戦略7】子どもの育ちと若者のチャレンジを応援 戦略7 - 若者のチャレンジの応援 若者の可能性を拓ける</p>	13,455	12,214	<p>1 若者自立支援事業 ニートの状態にある若者(無業者のうち、通学も家事もしていない概ね40歳未満の者)の自立を支援するため、若者サポートステーションの利用者を対象に臨床心理士によるカウンセリングやグループワーク体験プログラム、コミュニケーションスキル等の各種講座を開催した。 ・相談件数:10,470件、セミナー・講座参加者:4,585人、進路決定者数:568人</p> <p>2 将来の『夢=仕事』発見事業 若者の勤労観・職業観の醸成を図るため、多様なインターンシップの機会創出や技術・技能者の養成などに取り組み、若者の「夢」への挑戦をサポートする事業を実施した。</p> <p>(1) 将来の『夢=仕事』発見塾 高校生が、将来やりたい仕事を早く見つけだし、夢を実現することができるよう、実践的な教育を行う専修学校の教員や施設を活用した職場体験学習の講座を開講した。 ・開講:延9講座、参加生徒数:193人</p> <p>(2) 「夢」教育サポート推進事業 児童・生徒の勤労観・職業観を育み、将来設計と学びへの動機付けを行う職業講話や、社会人として必要な基礎能力習得のための講座等の開講を支援するため、企業の経営者等を「夢」教育サポーターとして128名登録し、学校へ派遣した。 ・派遣件数:延51件、受講者数:6,738人</p> <p>(3) 熊本ベンチャー体験事業 進路選択の拡大やベンチャー精神を育成するために、意欲ある若者が県内起業家のもとで、経営改善に関する提案を行うなど、企業の課題解決を实践する中長期のインターンシップを実施した。 ・参加人数 30人</p>	<p>失業対策総務費のうち P228~P229</p>
若者の雇用を進める	47,251	45,484	<p>1 将来の『夢=仕事』発見事業(ジュニアマイスター等倍増による就業支援プロジェクト) 県内の工業系・農業系の高等学校に、県内の技術者や熟練技能者を講師として派遣し、専門高校生の就職に結びつく実践的な技術・技能を向上させる講習会を実施するとともに、各種技能競技大会に向けた集中的な強化講習を実施した。 ・受講専門高校生数:837人</p>	<p>職業訓練総務費のうち P222~P224</p>

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(若者の雇用を進める)			<p>2 若年者対策ワンストップセンター事業、ジョブカフェ・ランチ事業</p> <p>若者が職業意識や働く意欲、能力を高め、希望や能力に応じた就職ができるよう、水前寺駅ビル2階に設置した「ジョブカフェくまもと」において、就業支援サービスをワンストップで提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 来所者数 21,645人、就職決定者数 1,069人 また、サービスを県内各地域に広げるため、全地域振興局に「ジョブカフェ・ランチ」を設置し、事業所とのマッチング、出前相談等の就職支援を実施した。 ・平成26年度 相談件数 7,454件(うち2,465件は職業講話) 就職決定者数 814人 	<p>失業対策総務費のうち</p> <p>P228～P229</p>
<p>【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本</p> <p>戦略8 - 障がいのある人の暮らしの応援 就労を進める</p>	<p>67,457</p>	<p>59,653</p>	<p>1 障がい者職業能力開発事業</p> <p>高等技術専門校において、知的障がい者を対象とした施設内訓練を実施するとともに、身体障がい者等を対象に民間教育機関等を活用した委託訓練を実施した。</p> <p>(1) 施設内訓練 定員及び訓練期間：16人、1年間または6か月 (内訳) 1年間：10人、6か月：4月、10月で各3人 入校者：12人 就職者数：11人 訓練科目：販売実務科(ショッピングセンター・スーパーマーケット・コンビニエンスストア等の店舗における商品管理、商品包装、食品加工、清掃作業等の実務。)</p> <p>(2) 委託訓練 訓練定員：128人、修了者数：42人、就職者数：11人 訓練期間：3か月 訓練科目：パソコン技能資格取得科等21コース</p> <p>(3) 委託訓練(在職障がい者) 訓練定員：18人、修了者数：5人、雇用継続者数：5人 訓練期間：3か月(54時間) 訓練科目：ビジネスパソコン資格取得科等3コース</p> <p>2 障害者就業・生活支援センター事業</p> <p>「障害者就業・生活支援センター」(県内6か所 熊本・上益城地域、宇城・八代地域、鹿本・菊池・阿蘇地域、有明地域、天草地域、芦北・球磨地域)において、障がい者の就業及び</p>	<p>職業能力開発校費のうち</p> <p>P224～P226</p> <p>失業対策総務費のうち</p> <p>P228～P229</p>

(商工観光労働部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(就労を進める)			職場定着のため、関係機関と連携して、職業訓練のあっせん、職場定着の支援及び生活面の支援を行った。 ・平成26年度 相談・支援件数：28,064件、就職決定者数 216人	
【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本 戦略9 - 一人ひとりが尊重される社会の構築 男女がともに自立し、支えあう社会をつくる	26,732	24,395	<ol style="list-style-type: none"> 1 女性の就労総合支援事業 女性が意欲と能力に応じた待遇を受け、働くことができる環境づくりを支援するため、セミナーやキャリアアップ研修等の開催や企業へのアドバイザー派遣を行った。 <ol style="list-style-type: none"> (1) ポジティブ・アクション推進事業 企業における女性の活用やポジティブ・アクションを促進するため、管理職候補者等を対象に、キャリアアップ研修等を実施した。(研修参加数：77人、講演会参加者数：52人) (2) 女性労働問題講習会 男女雇用機会均等法や育児・介護休業法、ポジティブ・アクション等の周知・徹底を図るため、主に企業の人事・労務担当者を対象に講習会を開催した。(参加者数：230人) (3) 女性のキャリアアップ及び仕事と家庭両立に係る企業支援事業 女性のキャリアアップや、仕事と家庭の両立支援等の職場環境整備に積極的に取り組もうとする企業等へ、専門的知識を有する各種アドバイザーや女性のキャリアアップ研修に係る講師を派遣し、支援を行った。 女性のキャリア形成支援アドバイザー派遣事業(21社延べ28回) 仕事と家庭両立支援等アドバイザー派遣事業(3社延べ5回) 2 労働局との一体的実施事業 県と熊本労働局の一体的取組みにより、仕事探しのカウンセリングから、生活相談、職業紹介、就職後のフォローアップまでの就労支援をワンストップで提供した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) キャリアカウンセリング 一人ひとりに合ったきめ細やかなカウンセリングを実施し、就職活動の進め方等について助言を行った。(利用者数：872人) (2) 生活相談 保育、公営住宅、健康保険、年金などの生活に関する相談受付、情報提供を行った。(利用者数：86人) 	労働福祉費のうち P221～P222 労政総務費のうち P219～P221

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(男女がともに自立し、支えあう社会をつくる)			(3) 労働相談 解雇、労働条件、賃金、職場でのトラブルなどについて、労使双方からの様々な労働問題に対し、社会保険労務士の資格を有する労働相談員が相談にあたった。(利用者数 : 763 人) (4) 子育て女性のための再就職支援プログラムの実施 再就職を希望する女性を対象に、パソコン講習、就職セミナーに加え企業との面談会等を実施した。(参加者数 90 人)	
4 百年の礎を築く 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 戦略11 - 州都をめざした取組みの展開 拠点性を高める	25,540	23,076	1 M I C E 等誘致促進事業 スポーツイベント4件(約4,500人の宿泊)大型コンサート3件(約30,200人の集客)及び映画ロケ4件について助成を行い、各種の誘致を促進した。	観光費のうち P311~P313
【戦略12】悠久の宝の継承 戦略12 - くまもとの自然・景観の保全・継承 阿蘇の草原・景観を引き継ぐ	19,000	18,713	1 阿蘇採石場終掘基礎調査事業 平成25年度に実施した調査(阿蘇採石場の平成28年末の終掘に関し、防災面での検討に必要な地質調査等)を踏まえ、それを補足するための貯水池堰堤部の地質調査等(測量、現況平面図作成)を実施した。	工鉱業振興費のうち P304~P305
【戦略14】熊本アカデミズム 戦略14 - 世界からの「知」の集積 「知」を集める	22,193	20,562	1 若手研究者による熊本型イノベーション創出事業 成長が見込まれる最新技術分野に関して、博士課程を修了したポスドク等の優秀な若手研究者を産業技術センターの非常勤職員(3名)として招へいし、「知」の集積を図るとともに、次世代の地域産業を牽引する革新的技術の創出と地域企業への展開を図る「熊本型イノベーション」を実現するため、有機薄膜関連の試験研究である有機エレクトロニクスデバイス製造の低コスト化のための新規装置の開発、シミュレーション解析技術の有機EL系開発利用への研究及び太陽電池の効率を向上させる補助材料等の研究開発に取り組んだ。	産業技術センター費のうち P308~P310

(商工観光労働部)

(単位 : 千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																												
6 その他 (12) 2019女子ハンドボール世界選手権大会	1,554	1,228	1 2019女子ハンドボール世界選手権大会支援事業 大会開催に向けた必要な検討を行うため、日本・熊本県ハンドボール協会、熊本県体育協会、熊本市とともに2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本推進協議会を設立し、熊本県における体制を整えた。	観光費のうち P311～P313																												
(13)ラグビーワールドカップ2019試合会場誘致	600	600	1 ラグビーワールドカップ2019試合会場誘致事業 平成31年に日本で開催が決まっているラグビーワールドカップ2019に向けて、熊本県ラグビー協会、熊本市等の関係団体と一体となり標記大会における会場の誘致活動を行い、平成27年3月にダブリン(アイルランド)で開催されたラグビーワールドカップリミテッド理事会において、熊本県・熊本市が開催都市として決定した。(全国で12都市)	観光費のうち P311～P313																												
(14) 緊急雇用対策	2,237,987	1,945,671	1 緊急雇用創出基金積立金 運用利息等 : 21,873 千円 2 緊急雇用創出基金事業 緊急雇用創出基金事業の管理運営等を行い、雇用機会の創出等を促進した。 【平成26年度緊急雇用創出基金事業実施状況】 <table border="1" data-bbox="936 954 1872 1133"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業数</th> <th>事業費</th> <th>雇用創出数</th> <th>就業支援者数</th> <th>支援事業所数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>103</td> <td>1,046,083</td> <td>524</td> <td>121</td> <td>1,144</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>144</td> <td>883,637</td> <td>415</td> <td>597</td> <td>86</td> <td>25市町村</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>247</td> <td>1,929,720</td> <td>939</td> <td>718</td> <td>1,230</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業数	事業費	雇用創出数	就業支援者数	支援事業所数	摘要	県	103	1,046,083	524	121	1,144		市町村	144	883,637	415	597	86	25市町村	計	247	1,929,720	939	718	1,230		失業対策総務費のうち P228～P229
	事業数	事業費	雇用創出数	就業支援者数	支援事業所数	摘要																										
県	103	1,046,083	524	121	1,144																											
市町村	144	883,637	415	597	86	25市町村																										
計	247	1,929,720	939	718	1,230																											